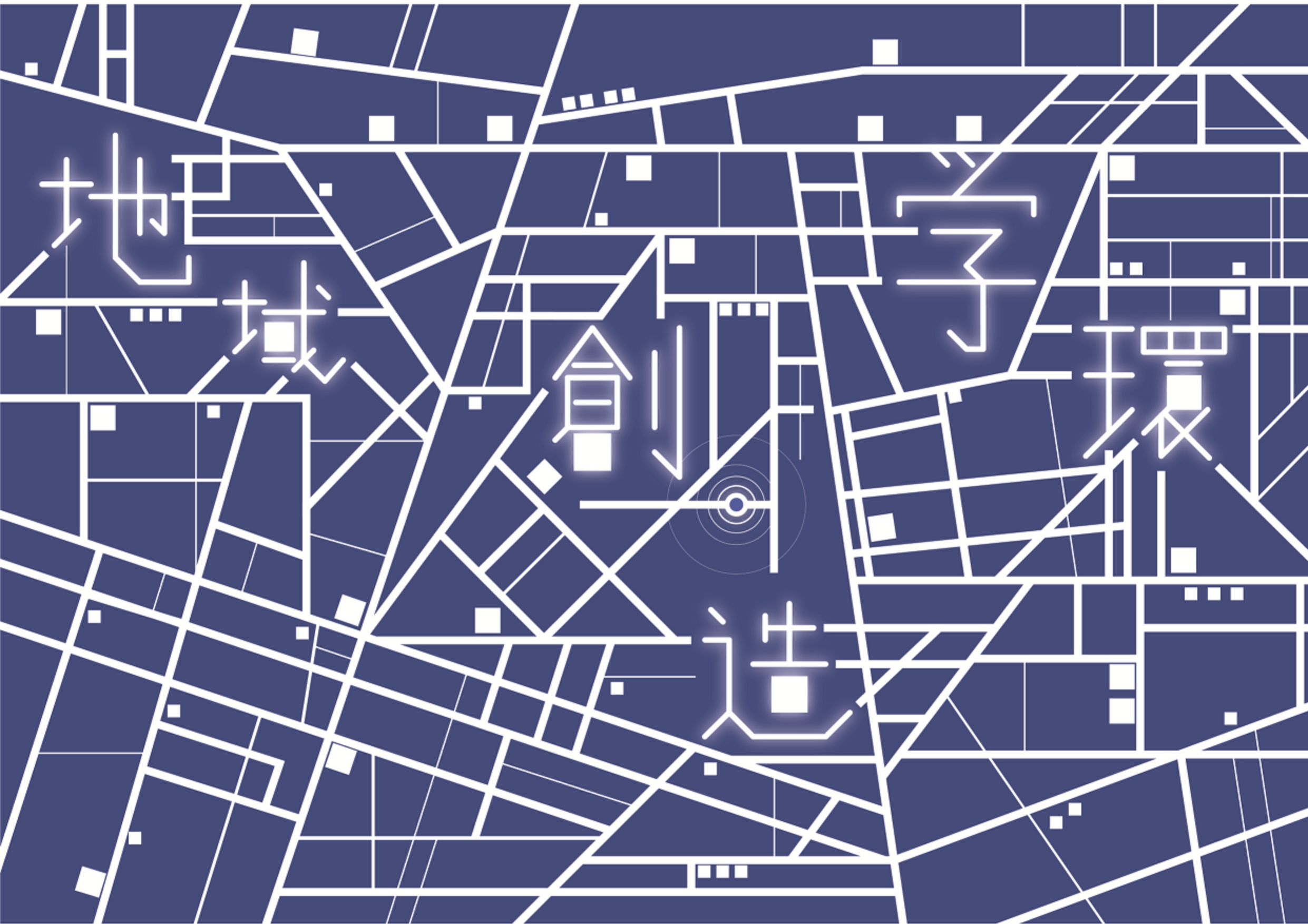




静岡大学

# 地域創造学環 2021

SCHOOL OF REGIONAL DEVELOPMENT



**地域**

が抱えている様々な問題に対処し

**地域**

をより魅力的で、活力にあふれたものにできる

**地域**

のクリエイティブリーダーを育成します。



静岡大学

# 学環とは

静岡大学地域創造学環（以下、学環）とは、静岡大学全体が有する教育研究資源を柔軟にかつ最大限に活用して、従来の学部の枠組みを越えることを可能にした新たな教育プログラムのことです。平成28年4月よりスタートした、このプログラムでは、静岡大学の全ての学部（人文社会科学部、教育学部、情報学部、理学部、工学部、農学部）の授業を履修することができます。幅広い教養と高い専門知識を身につけながら、積極的に地域（フィールド）に飛び出して学んでいくことが学環の大きな特徴です。地域が抱える様々な問題と向き合い、その解決策を地域の人々と考えながら、より魅力的な地域社会の創造に取り組むことができる人材を育成します。



## 3つのコースで、地域のクリエイティブリーダーを育成します。

学環では、1年生の前学期で、フィールドワークの事前準備を行いながら、自分なりの地域へのアプローチ方法を考えます。その後、1年生の後学期から、3つのコースの中からそれぞれ自分の関心にあったコースを選択し、より専門性の高い知識と能力を身につけていきます。

令和2年度から、学生の多様な学修ニーズに応えるため、文理融合系の3コースを1つにまとめて「地域サステナビリティコース」とし、より柔軟な領域横断型の教育サービスを提供します。

入学後、1年後学期（10月）から、自由にコースを選択できます。

### 地域サステナビリティコース

地域における諸問題に主体的に取り組み、持続可能な地域づくりに貢献するリーダーを育成する。本コースでは3つの分野を設け、専門性を追求しながら地域のニーズに対応する。

#### 地域経営分野

地域が直面する課題やニーズを把握し、地場産業や自然環境、食、歴史、文化など地域にあるさまざまな「資源」を発見、評価して活用することで、新たな地域の活動やビジネスを生み出すリーダーを育成する。

#### 地域共生分野

高齢者、子ども、障がい者、外国人、貧しい人など、弱い立場に置かれやすい人々もともに生き生きと暮らし、活躍できる地域社会をつくるリーダーを育成する。

#### 地域環境・防災分野

企業活動や人々の暮らしが環境に与える悪影響を減らすとともに豊かな地域環境を育み、また地域の防災力を高めることにより自然災害に強い地域社会づくりにも取り組む、地域の環境・防災リーダーを育成する。



### アート&マネジメントコース

芸術と社会を結ぶことによって、地域の抱える問題を解決するマネジメント力を持ち、地域文化の振興において中心的役割を果たしたり、美術・デザイン分野の創作活動を展開したりすることの出来るリーダーを育成する。



### スポーツプロモーションコース

豊かな地域社会の創造に資する新たなスポーツ文化の担い手として、スポーツ産業の進展・健康スポーツの実践・スポーツの競技力向上など、スポーツ・健康分野から地域社会の環境及び人材教育をトータルコーディネートできるリーダーを育成する。



# 学環での3つの学びのポイント

学環では、地域（フィールド）でそれぞれが抱えているさまざまな問題に対処するための実践的な学習を積み重ねていくことで、学問を学びつつ、コミュニケーション力や主体的行動力など、実社会で必要な能力を育成します。また、幅広く全ての学部の授業を履修することができるので、1年生後学期の早い段階から学生1人に対し2名（正・副）の「学びのアドバイザー」がついて、それぞれの学生に合ったオリジナルの授業計画作成をサポートします。



## 2 1年生後学期からコースを履修。全学部の講義を選択

学生は入学後、1年生後学期から、希望のコースを履修します。学環の共通科目と各コースの選択科目を履修するほか、本学全学部・学科の講義を選択できます。



## 1 大学で学ぶだけでなく、大学から飛び出して学ぶ

基礎的な専門知識・技能は大学内で学びつつ、フィールドワークや演習等で学外の様々な場所に飛び出して、実践力を養っていきます。



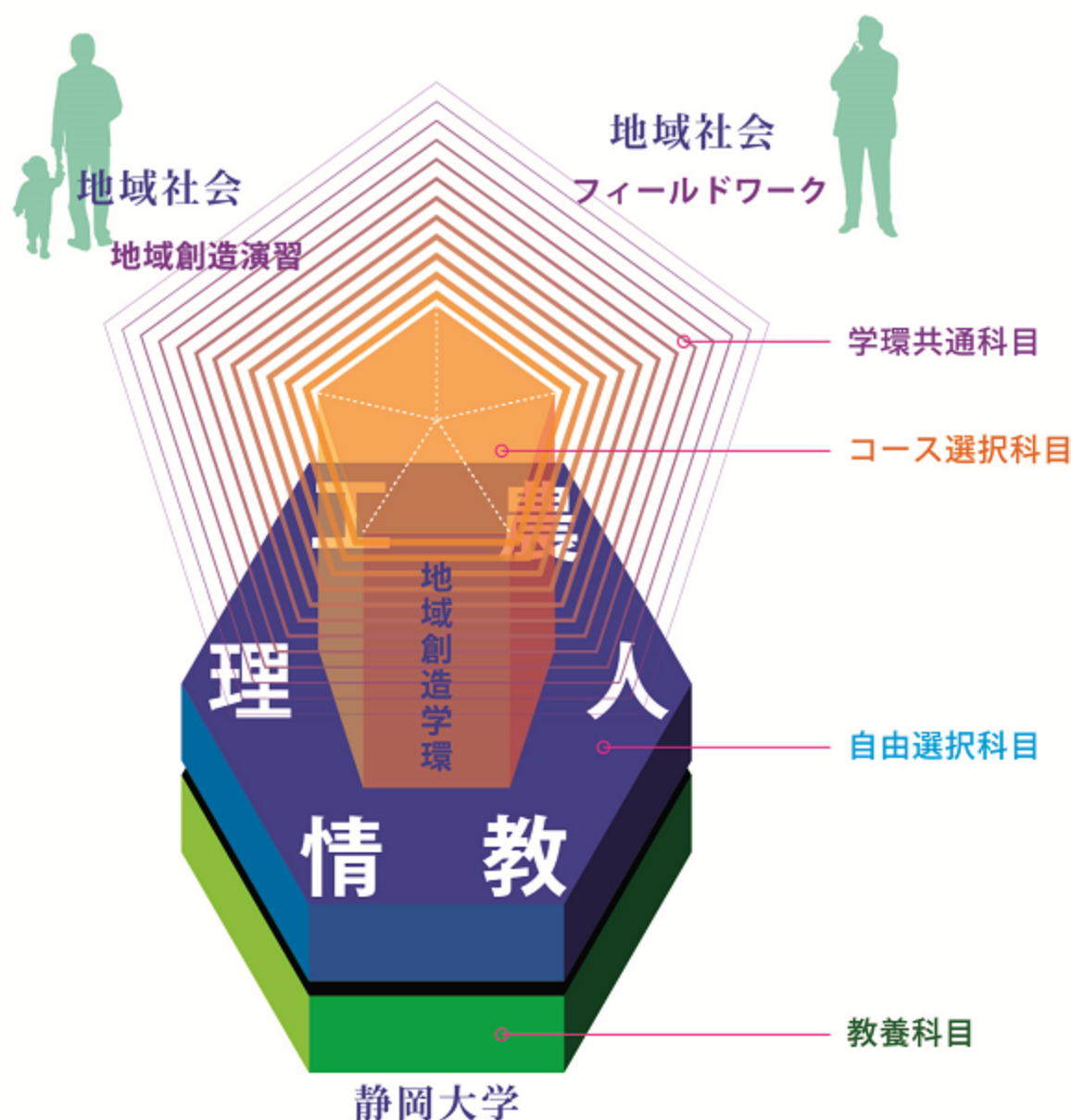
## 3 「学びのアドバイザー」が一人ひとりの学びをサポート

学生1人ひとりの希望と目標にそった講義履修プランづくり、コースや演習・フィールドワークの選択など、専任教員が学生の学びをきめ細かくサポートします。

# 学びのイメージ

幅広い教養と基本的な学習能力を身につけるための「教養科目」と、全ての学部の授業から選択できる「自由選択科目」が基礎になります。更に、地域の調査や分析のための能力を養う「学環共通科目」や、各コースにおける専門的な「コース選択科目」を柱とし、学環独自の「フィールドワーク」・「地域創造演習」を学年ごとに積み重ねていく形で、全体のカリキュラムが組み立てられています。

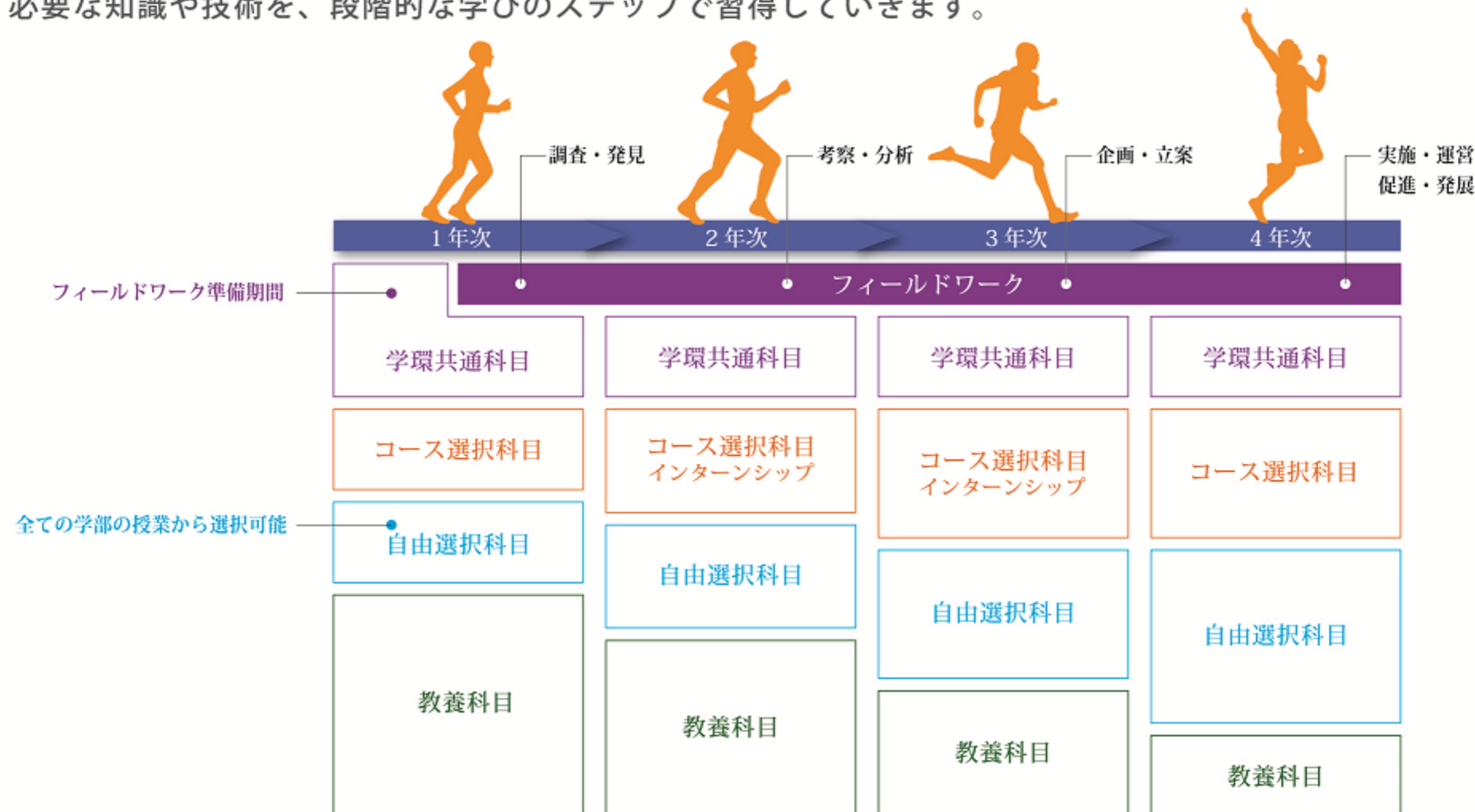
さらに、学びのアドバイザーにサポートされながら、学生一人ひとりの個性に合わせたカリキュラムを組むことができるという点が学環の学びの特徴です。



# 4年間の学び

学環での4年間の学びは、学年ごとに次のように進んでいきます。

1年生後学期から始まるフィールドワークと地域創造演習（ゼミ）を中心に、地域の課題を解決するために必要な知識や技術を、段階的な学びのステップで習得していきます。



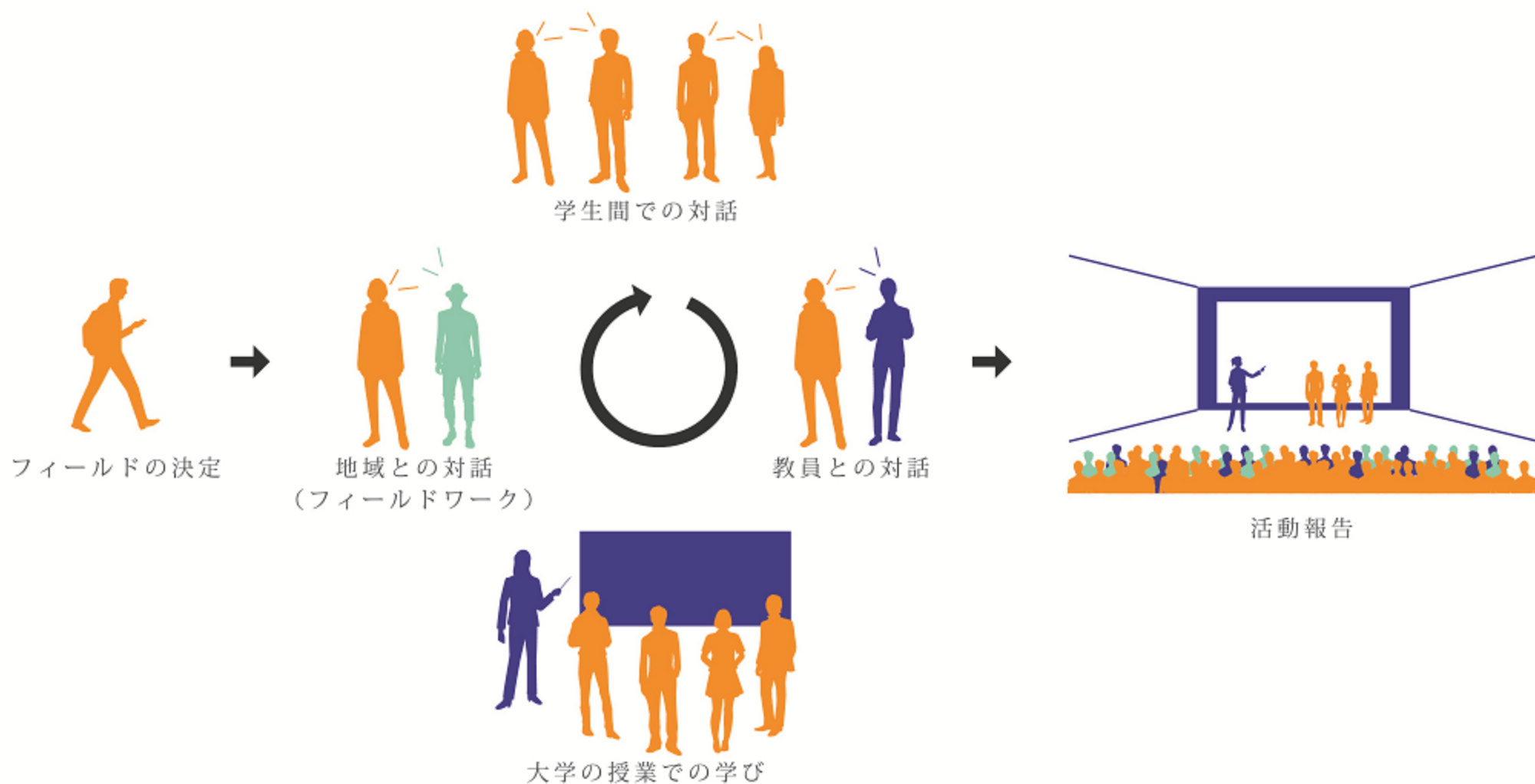
## 学環共通科目とコース選択科目

学環共通科目、コース選択科目の具体的な科目は次のとおりです。（2020年4月1日現在、地域サステナビリティコースは履修例）  
 「学環共通科目」は地域の調査や分析のための能力を養う基礎的な科目で成り立っており、「コース選択科目」は各コースにおける専門性を高められるよう組み立てられています。

学環共通科目	コース選択科目				
	地域サステナビリティコース			アート&マネジメントコース	スポーツプロモーションコース
	地域経営分野	地域共生分野	地域環境・防災分野		
地域創造概論	社会科学情報処理	社会科学情報処理	社会科学情報処理	アートマネジメント概論	スポーツプロモーション論
地域づくりの課題Ⅰ	情報意匠論	情報意匠論	情報意匠論	情報意匠論	スポーツパーソナリティ論
地域づくりの課題Ⅱ	コミュニティ基礎論	社会福祉	地誌学概論	多元的共生社会論	スポーツパーソナリティ論
統計学Ⅰ	地域連携論	コミュニティ基礎論	数値解析基礎	地域経営Ⅰ	スポーツマネジメント論
社会調査入門	地域政策Ⅰ	多元的共生社会論	環境共生と地域の社会学	地域経営Ⅱ	スキー演習
プレゼンテーション入門	地域政策Ⅱ	地域社会と歴史	実践からの防災行政論	絵画実践研究Ⅰ	体育・スポーツ測定学
ファシリテーション入門	地域経営Ⅰ	地域社会の言語文化	地球科学	絵画実践研究Ⅱ	ニューススポーツ演習
地域創造演習Ⅰ	地域経営Ⅱ	地域創造文化論	環境政策	絵画実践研究Ⅲ	体育・スポーツ経営学
地域創造演習ⅡA	環境政策	地域連携論	地球ダイナミクス概論Ⅰ・Ⅱ	デザイン実践研究ⅠA	体育・スポーツ心理学
地域創造演習ⅡB	コミュニティビジネス論	地域社会と文学文化	生物環境科学概論Ⅰ・Ⅱ	デザイン実践研究ⅠB	運動生理学
地域創造演習ⅢA	都市計画論	都市計画論	公共施設デザイン論	デザイン実践研究Ⅱ	運動生理学演習
地域創造演習ⅢB	農村福祉論	農村福祉論	地域社会と災害	デザイン実践研究Ⅲ	トレーニング論
地域創造演習ⅣA	地域社会学	男女共同参画論	地震防災	彫刻実践研究Ⅰ	スポーツ栄養学
地域創造演習ⅣB	地域社会と福祉	地域社会学	災害時におけるリスク危機マネジメント	彫刻実践研究Ⅱ	体育・スポーツ社会学
フィールドワークⅠ	都市環境デザイン	コミュニティ心理学	静岡県での防災・減災と原子力	文化施設概論	コーチング論
フィールドワークⅡA	地域環境政策論	健康・医療心理学	環境と経済	文化施設各論	スポーツメンタルマネジメント
フィールドワークⅡB	社会資本マネジメント論	家族とジェンダーの社会学	自然災害と現代社会	美術史研究Ⅰ	スポーツテーピング演習
フィールドワークⅢA	質的地域調査法演習	仕事の社会学	地理学研究法	美術史研究Ⅱ	スポーツバイオメカニクス
フィールドワークⅢB	量的地域調査法演習	地域社会と福祉	学校におけるリスク管理	書文化制作実践	スポーツマーケティング論
	質的地域調査法演習	社会・集団・家族心理学	自然遺産の保護と活用	文化政策論	スポーツ医学
	量的地域調査法演習	NPO・ボランティア論	放射線計測・管理学概論	演劇文化論	
		消費者市民教育論	持続可能な地域社会と災害	アートマネジメント各論	
		地域社会と新聞		アートマネジメント特論	
		質的地域調査法演習		音楽文化論	
		量的地域調査法演習		アートマネジメント概論	
				文化施設管理運営演習	
				書道フィールドワーク	
				芸術鑑賞演習	
				ワークショップ演習	

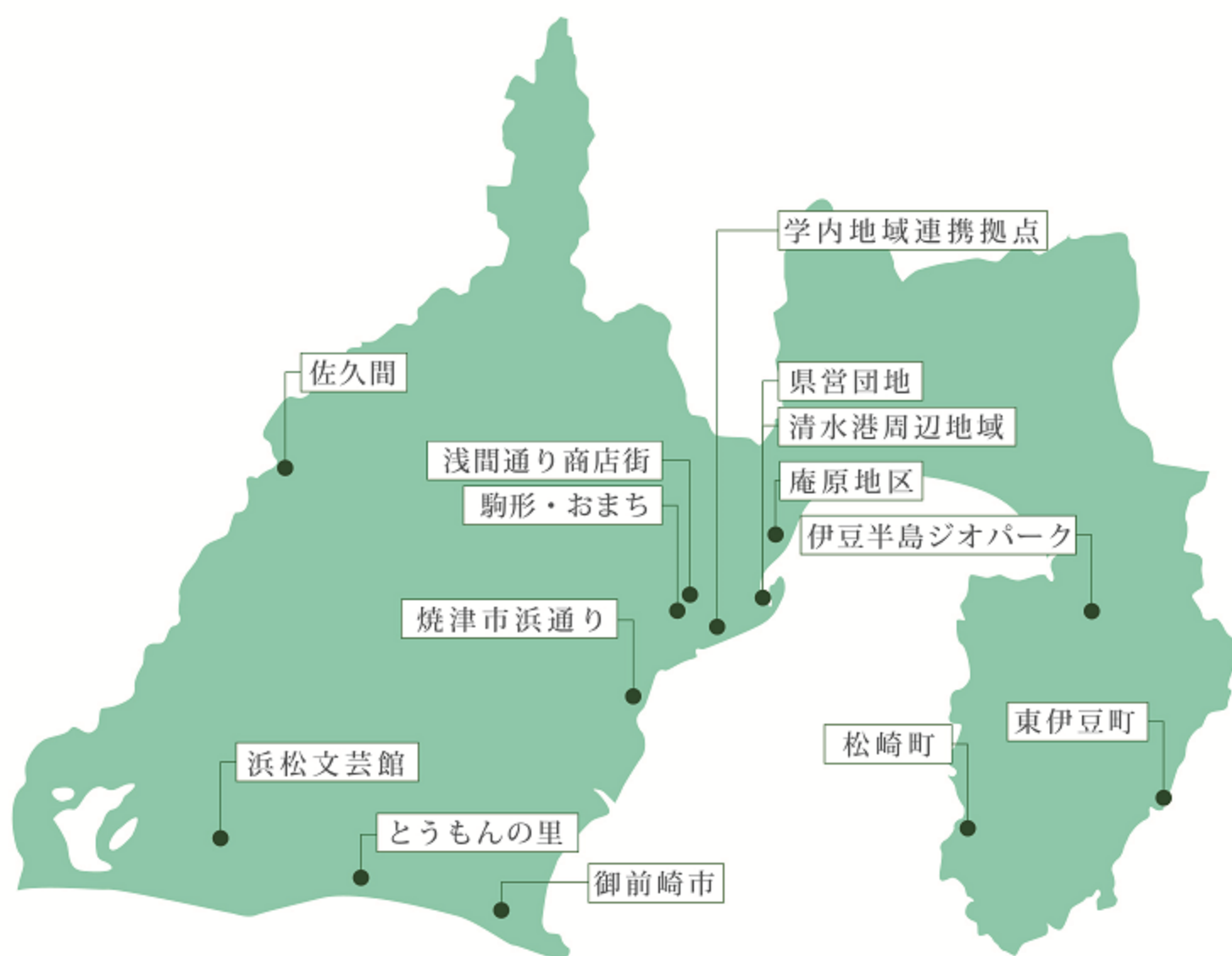
# フィールドワークとは

学環では、地域課題を解決する能力を育むために、1年生後学期から静岡県内のフィールドで、継続的にフィールドワークを行います。教員のアドバイスを受けつつ、地域の方々と交流しながら、地域の課題や資源を発見・探求し、課題解決のための提案をするとともに、場合によっては地域の方々とともに解決に取り組めます。

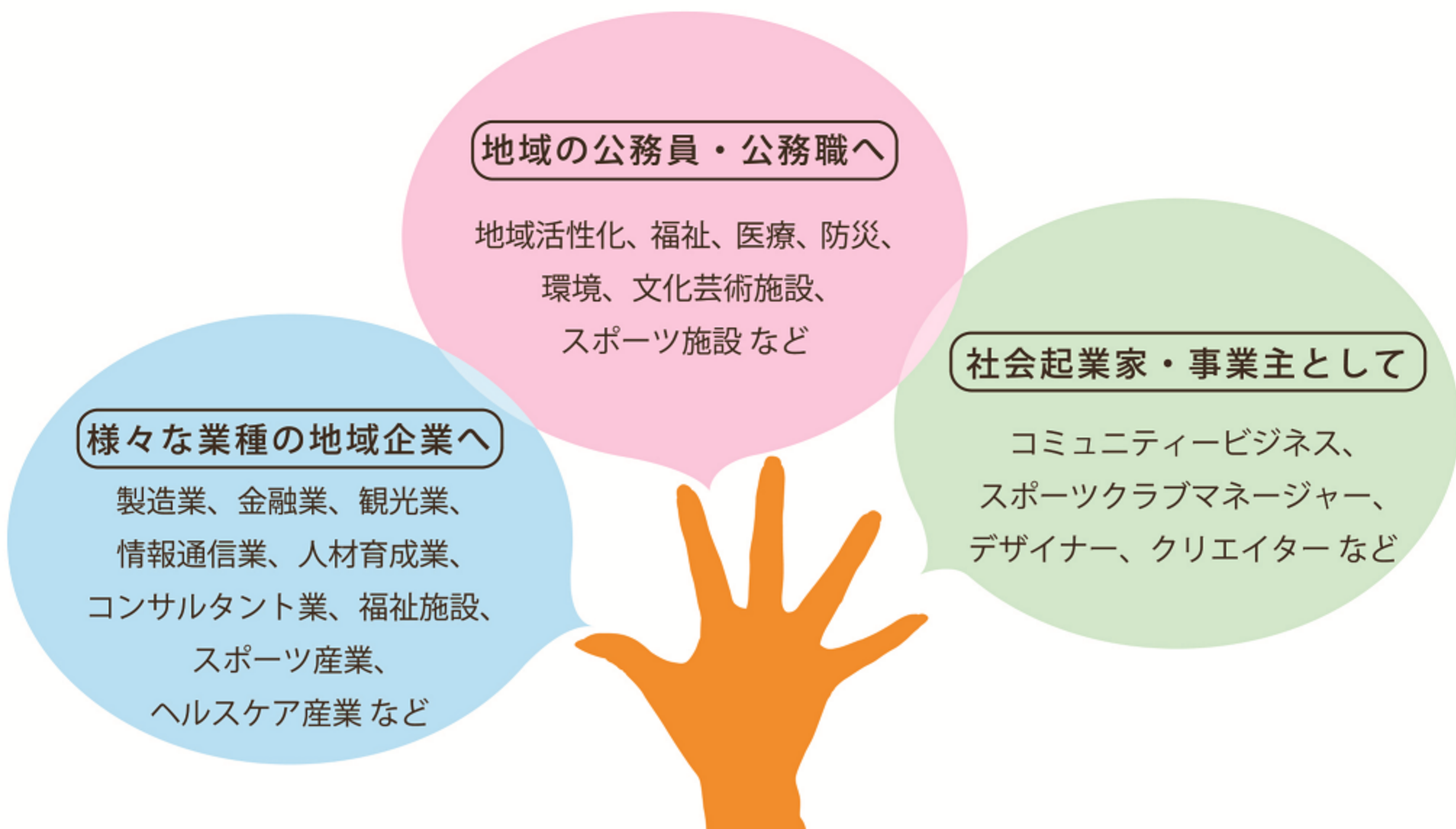


# 各地のフィールド

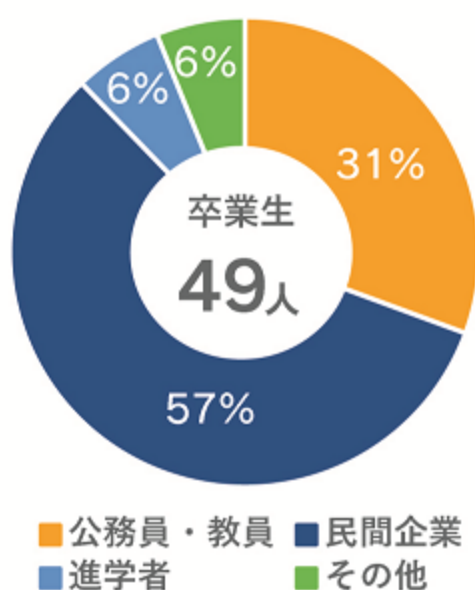
静岡県内地域の中山間地域から街中まで、多様な人・ものを交えながら活動を展開します。フィールドワークを通して地域から学び、時には失敗を重ねながら地域と向きあっています。



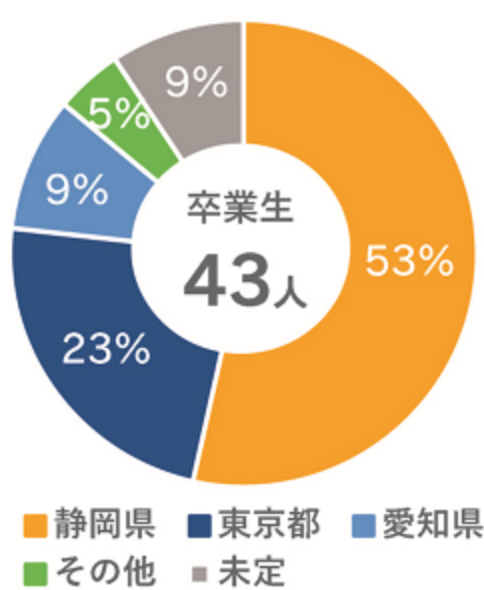
## 卒業後の進路



1. 卒業後の主な進路  
(2020年3月卒)



2. 勤務予定地  
(2020年3月現在)



**公務員・教員**

静岡県庁、静岡市消防局、浜松市役所、御前崎市役所、御殿場市役所、静岡地方検察庁、人事院、防衛省、静岡県特別支援学校中等部 他

**民間企業**

JR東海静岡開発(株)、(株)静岡銀行、静岡鉄道(株)、(株)シャンソン化粧品、鈴与(株)、浜松商工会議所、(公財)浜松市文化振興財団、大成建設(株)、ヨシコン(株)、(株)ノリタケカンパニーリミテド、税理士法人名南経営(株)、(株)イッセイミヤケ、首都高速道路(株)、日本ガイシ(株)、日本製粉(株)、三井不動産リアルティ(株)、三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株) 他

**進学先**

静岡大学大学院、愛知県立芸術大学大学院 他 (順不同)

## 入学者選抜について

### 募集人員 50名

令和3年度入試では、推薦入試(大学入学共通テストは課さない)、前期日程入試、後期日程入試の3つを実施。  
「様々な能力や得意分野、異なる背景を持った多様な生徒が、高等学校までに培ってきた力」「大学入学後にも継続的に自らを高め成長していける力」を面接(事前提出書類等を含む)、小論文、実技等で評価します。

### 入学を期待する学生像

地域の様々な問題や課題に興味関心を持っている人、いろいろなことを学び身につけ自分の能力を高めていける人、人として成長していきたいという意欲を持っている人の入学を期待します。

詳しくは、

- 「令和3年度入学者選抜に関する要項」(7月初旬 公表予定)
  - 「令和3年度特別選抜学生募集要項」(9月初旬 公表予定)
  - 「令和3年度一般選抜学生募集要項」(11月初旬 公表予定)
- をご覧ください。

### お問い合わせ

国立大学法人静岡大学 地域創造学環係 (平日 8:30~17:00 まで)  
電話: 054-238-4311 メール: gakkan@adb.shizuoka.ac.jp

